

みなさんこんにちは！
寒い日が続いてますが、体調崩されてないでしょうか。あんねっとでは「市民参加条例」について考えてきた参加編を終え、協働編がスタートしました。協働編では、「協働に関する指針」を策定するために必要な基本的なことを話し合っています。
「協働に関する指針」は、今年度中はあんねっとで4回のワークショップを行い、その内容のまとめをします。来年度はそれを基に、さらに深くワークショップを行い、「協働に関する指針」としてまとめる予定です。



また、あんねっとで素案を考えた「市民参加条例」は審議会、例規審査会を経て、パブリックコメントの募集も行いました。来月、「安城市市民参加条例(案)」として、3月議会に上程される予定となっています。

第12回
2010.10.6



「条例素案」の確認！
あんねっと「素案」を受けて作成された「条例素案」の説明を聴きました。変更箇所をまとめた表を使い、どの部分がどのように変更されているのか理解できました。



あ

安城市
市民参加条例と
協働に関する指針を考える
市民会議

第6号

発行 / 安城市市民参加条例と協働に関する指針を考える市民会議
事務局 / 安城市 市民活動課
TEL(0566)71-2218 FAX(0566)76-1112
MAIL : katsudo@city.anjo.aichi.jp
HOME : http://www.city.anjo.aichi.jp/

・「あんねっと」とかわらばんへのご意見・ご感想をメール・電話・FAXで募集します。
・どうぞお寄せください。お待ちしております。

グループワーク 「なぜ協働か? ~ 協働の目的・ねらい ~」

春 協働の目的とねらいの本質は?

・人材を活かす

- ・一個人でできないことができる
- ・役所のみではできないことが可能(多様化)
- ・より大きな力を得られる
- ・市民目線での展開が出来る
- ・住みよいまちをつくるため
- ・押し付けでない、自ら進んでできる良さ
- ・多様な人材を活かせる

夏 協働の目的とねらいの本質は?

・各種団体の強みを活かす
・協力をしてだれもが幸せに暮らし続ける

- ・ローカル団体だけではない
- ・市民のニーズを役所だけでは満足させることが出来ない
- ・それぞれの強み、弱みを補完する
- ・地域の絆がうすれていきている
- ・世代を超えて行う作業

秋 協働の目的とねらいの本質は?

・幸せ

- ・新しい視点
- ・核家族化でコミュニティの低下
- ・仲良くなることは良いこと
- ・良さをもちあってより良いものをつくる
- ・絆づくり
- ・財政問題

冬 協働の目的とねらいの本質は?

・共助-みんなと助け合い
・共生-生きて 共活—活動する
・力は1 + 1で5になる(パワーUP!)

- ・自分の知らない世界を知ることが生き方
- ・違う考え方にふれることでより高い考え、活動に結びつく
- ・それぞれの得意分野が違う、生かしあう
- ・連帯意識の向上
- ・同じ意識を持った人同士で共通認識の育成、共通の悩み
- ・目的の解決、達成



第4回目の審議会は、市民参加条例案について、今後のスケジュールについて審議されました。
市民参加条例案は、パブリックコメントを実施する前の最終案であり、最終確認がされました。
今後はパブリックコメント↓審議会↓市長への答申を経て3月に議会に上程される予定です。

第4回
審議会
2010
10.14

第3回目の審議会は、昇教授の「市民参加条例とは?自治基本条例、市民参画との関係等」の講話を聴き、その後、市民会議からの最終素案を確認しました。
市民参加条例案は、各委員から具体的な意見が出され活発な審議が行われました。

第3回
審議会
2010
9.14

草薙さんゲストトーク！



「まちづくり企画人」は多種多様な活動を行っており、とても興味深い話が聞けました。一例を挙げると「あんじょう地元学読本をつくらう」など。とてもおもしろそうですね。

あんなつとは協働編の2回目。「安城の協働って？」でできていること／足りないものとして「足りないもの」として全体トークを行いました。トークの前にはサンクスフェスティバルでのP活動の報告がありました。I活動の報告はあんなつと新聞の号外をご覧ください。また、ゲストとして「まちづくり企画人」の草薙さんを招き「わたしたち安城でこんな協働やつてます！」と題して、活動内容や協働について発表していただきました。最後は全体トークで出した意見を全員で共有しました。

第13回
2010.11.05



全体トーク「安城の協働って？～できていること／足りないもの」

できていること・強み

活動団体への支援（全体的なこと）
印刷などの援助は嬉しい、チラシ作成／相談に乗ってもらって助かる（企画運営）／幅広い企画や講座の申請に対して補助してもらえる市である
活動団体への支援（場所）
市民団体が活動できる施設
その他
献血に協力／表彰制度をもっと活発に



団体の充実
各団体の自発的活動（問題意識）／レベルの高い取組みと継続性が良い
人の充実
「安城」を好きな市民が活動してくれている（地元だけでなく）

協力関係
元気なまちなので市や企業や個人の協力を得ることができると感じる／趣旨、目的を気軽に話し合えば同調者が得られやすい



足りないもの・弱み

団体について
企画・実行の出来る団体 小+小+小=大強／NPO 法人の絶対数
人について
協働事業へ参加する人が限られている／子育て世代の参加

活動資金に関すること
お金／補助金、助成金をあてにしない組織づくりが足りない
協働の認識
協働という概念の理解／協働事例の内容をもう少し詳しく書いたものが欲しい
その他
学習会で講師を探していますが情報が無いので、ボランティアなどの人達のリストがあると良い／市民個人が想いを語れる場

コーディネーター
つなぐ人、裏方的な思考
連帯不足
他のボランティア団体と合同で企画運営が出来たらよい／協働コーディネーター
情報発信・PR
伝達／アピール力、資金集め
情報発信力 受信力／実績のPR



グループワークの風景



あんなつとは、2010年を締めくくりにふさわしい濃い内容となりました。グループワークは「プレイヤーの役割・責務」、「協働を進めるうえに必要なものは？」と2テーマについて話し合いました。市民活動団体、市、事業所、地縁団体、教育機関などに分類して、それぞれの役割・責務について意見を出し、KJ法で分類・整理しました。協働を進めるうえに必要なものについてグループ毎で意見を出し合い、ベスト3を決めました。また、ワークの前には市民参加条例のパブリックコメント案の報告があり、最後は、グループ毎の意見を全員で共有しました。

第14回
2010.12.1



グループワークまとめ

プレイヤーの役割・責務

市民活動団体等

活動の発案と実行／活動報告／活動の目的を持って主体的に団体と向き合う／市民全体 市への利益になる活動をする／特別な団体や個人にだけ向けることなく、どの市民にも平等である活動であること／お互いが納得できるまで話し合っ共有できるようにするためのルールづくり／自主的、自発的に考え行動する

事業所

細部にわたる活動 事業仕分け／中小企業もCSR活動を積極的にする／自らの持つ資源を活かす／適切な助言

市

補助金、PR など／情報の発信／協働についての告知／積極的に市民参加、協働するように啓発する／事業活動についての支援／職員のコーディネーター推進役としての成長／人材育成



グループワークまとめ

協働をすすめるうえで必要なものは？

1.PR

2.表彰制度
3.団体育成につながる道筋の構築
団体間をつなぐコーディネーター／興味のない人を取り込む情報発信／市民、団体に感謝の意を示す

あ

1.意識作り

2.協働提案事業
3.お金
事業内容の提供と提案のしくみ／団体活動の情報の共有化／意識啓発／情報の一元化

い

1.人 つなぐ人

2.人 自立できる団体
3.人 市の職員
場所(公的)／団体にお金流れ込むようなしくみ／団体の育成／推進計画、ルール／情報公開、共有

う



ひとことアンケート

あんなつと 素案の修正案もほぼ90%満足／条例案が議会を通り、平成23年4月には施行されることを願っています／協働に対する考え方が多岐にわたり議論することができ有益であった／それぞれのkey Wordは違っていたけど、互いに共感できるものはあると思う。

あんなつと 我が会の方向性も今の想いで進めようと思信できた／安城市の協働についてほとんど知らなかったが、意見を聞いてとても良く分かった／改めて勉強になりました／メンバーそれぞれの意識が高くなっている気がした／団体間の連携が今後重要だと感じました／これからの協働のことはあまり他には協力してもらえないと思うので、会で運営できる方向性を考えていきたい。

あんなつと グループごとの意見がユニークで楽しかった。一人一人の意見も興味深かった／有意義な時間が過ぎました／協働に必要なものは考えれば考えるほどたくさん出てくるかと思います。これからだと思いました／「ありがとう」の感謝の気持ちが必要だと思います／あらためて「人」の大切さを認識し、つながりでフォローできると感じた。